

経営比較分析表（令和元年度決算）

香川県 普通寺市

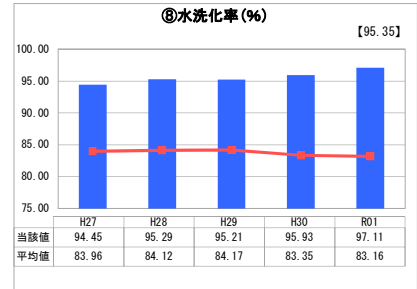
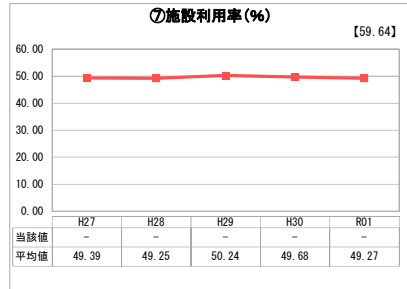
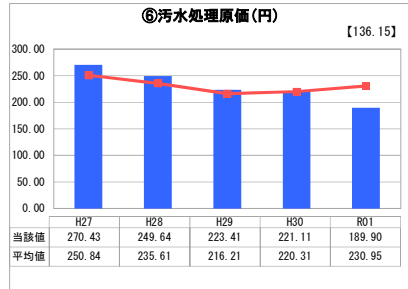
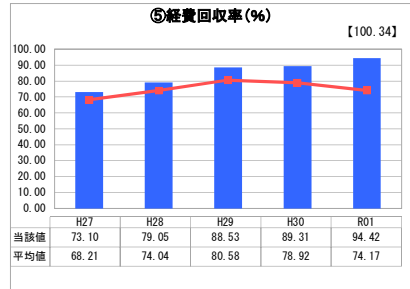
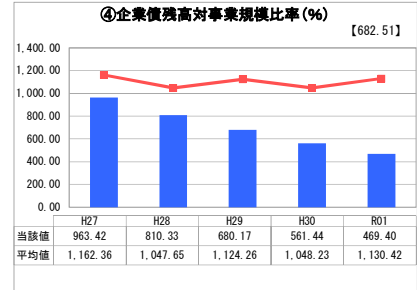
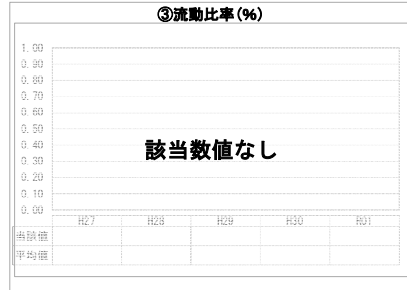
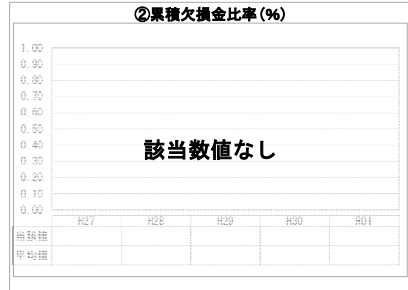
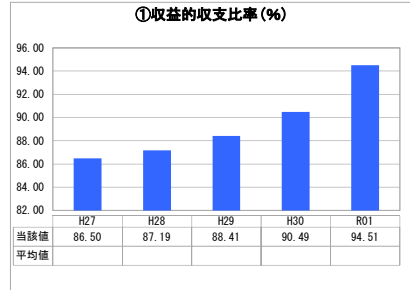
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	59.68	89.59	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,023	39.93	801.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
18,888	8.01	2,358.05

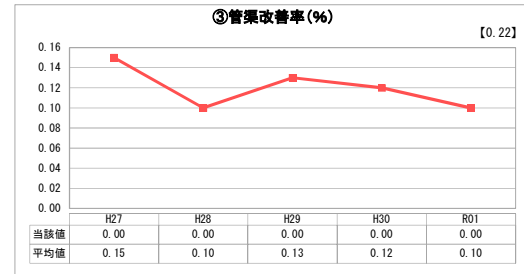
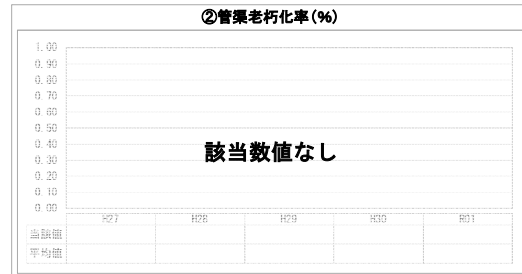
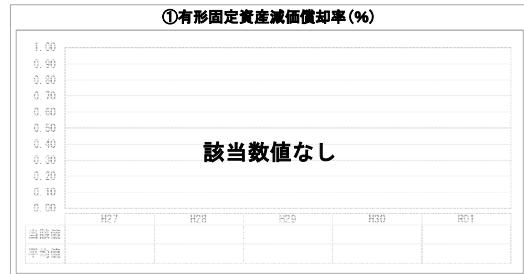
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度の使用料収入は切替により減額となったが、一般会計からの繰入金が増額により、総収益は増加した。また、中讃流域下水道維持管理負担金や地方公営企業法適用移行事業費等の減額に伴い総費用が減少した結果、収益的収支比率は、4.02ポイント上昇している。

企業債残高対事業規模比率は、前年と同様に類似団体の平均値を下回っているが、令和3年度が償還ピーク（元金）となっており、当分、大きな負担が継続する見通しとなっている。今後、大幅な事業拡張は予定しておらず、整備費は低調となると思われるが、人口減少等に応じて使用料収入が減減するものと見込んでおり、厳しい経営状況が続くものと想定している。

2. 老朽化の状況について

本市の下水道事業は、平成2年12月から供用を開始し、未だ管渠の耐用年数を経過していないことから、本格的な更新工事を行っておらず、管渠改善率は0%となっている。企業会計適用による、固定資産台帳を整備することにより経過年数ごとの管理を的確に行い、財政上の観点からも計画的な管渠更新計画を検討していきたい。

全体総括

当面の間、地方債の償還が大きな負担となっており、今後は官庁会計による財政収支計画を踏まえて平成28年度に策定した経営戦略を公営企業会計の観点から見直し、令和2年度に改定した経営戦略（令和3年度～令和12年度）に基づき計画的な財政運営を図り、安定経営を実現していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。